

募集要項 2022

WEB出願のお知らせ

神田外語学院 2022年度4月入学者向け入試はWEB出願形式です。出願に必要な書類はWEB出願サイトからダウンロードしてください。出願方法については、本募集要項とWEB出願の手順についてまとめた別冊「WEB出願ガイドブック」、またはホームページをご覧くださいのうえ、ご出願ください。

※留学生の方もWEB出願は可能ですが、提出書類については、神田外語学院の窓口提出のみの受付となりますので、予めご了承ください。

募集要項 2022

- 昼間部 2 年制課程
- 昼間部 1 年制課程

| | |
|---|-----|
| 個人情報の取り扱いについて | P 1 |
| 受験方法／出願から入学までの流れ | P 2 |
| 募集学科と入学定員 | P 3 |
| 入試日程 | P 4 |
| 学校推薦 | P 5 |
| 自己推薦 | P 6 |
| 一般試験 | P 7 |
| グローバルコミュニケーション科 特別試験 | P 8 |
| 留学生特別試験 | P 9 |
| 日本語併修課程 | P10 |
| 入試についての Q & A／学費 | P11 |
| 入学金返還制度／奨学金制度／ 高等教育の修学支援新制度／ オリコ学費サポートプラン／教育ローン | P12 |

個人情報の取り扱いについて

本学（神田外語学院をいい、以下も同様とします）は、利用目的をできる限り特定したうえ、予めご本人（その個人情報によって識別される特定の個人をいい、以下も同様とします）の同意を得た場合、及び法令により例外として取り扱うことが認められている場合を除き、利用目的の範囲内でのみ個人情報を取り扱います。
なお、当該利用目的は以下に定めます。

利用目的

本学は、WEB出願サイト、出願書類、及び入試成績において取得した個人情報を以下に定める目的に限り利用します。

- (1) 出願書類不備における連絡
- (2) 入学試験の実施、及び試験に関わる資料の作成
- (3) 合否判定
- (4) 合否通知の送付、及び連絡
- (5) 合格した際の入学手続き書類等の送付、及び連絡
- (6) 入学式の案内の送付、及び連絡
- (7) 入学後・卒業後の各種案内の送付、及び連絡
- (8) 入学後のクラス編成・クラス名簿作成
- (9) 個人を特定しない統計数値作成、及び分析結果の利用
- (10) 学生グループ総合補償制度加入事務手続き

出願書類等における個人情報に関するお問い合わせ先

神田外語学院

アドミッション&コミュニケーション部

フリーダイヤル：0120-815-864

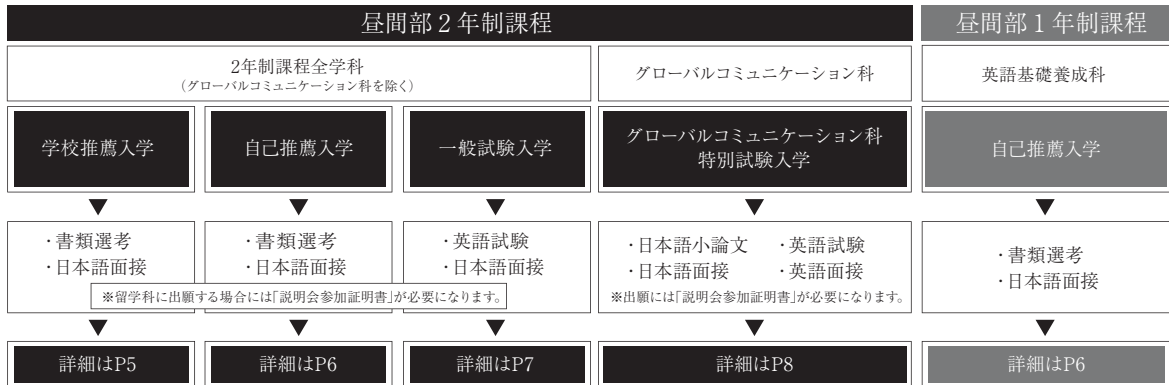
TEL：03-3258-5838／FAX：03-3254-2516

e-mail：pr@kifl.ac.jp

受付日時：月曜日～金曜日 9：30～17：30（祝日・休校日を除く）

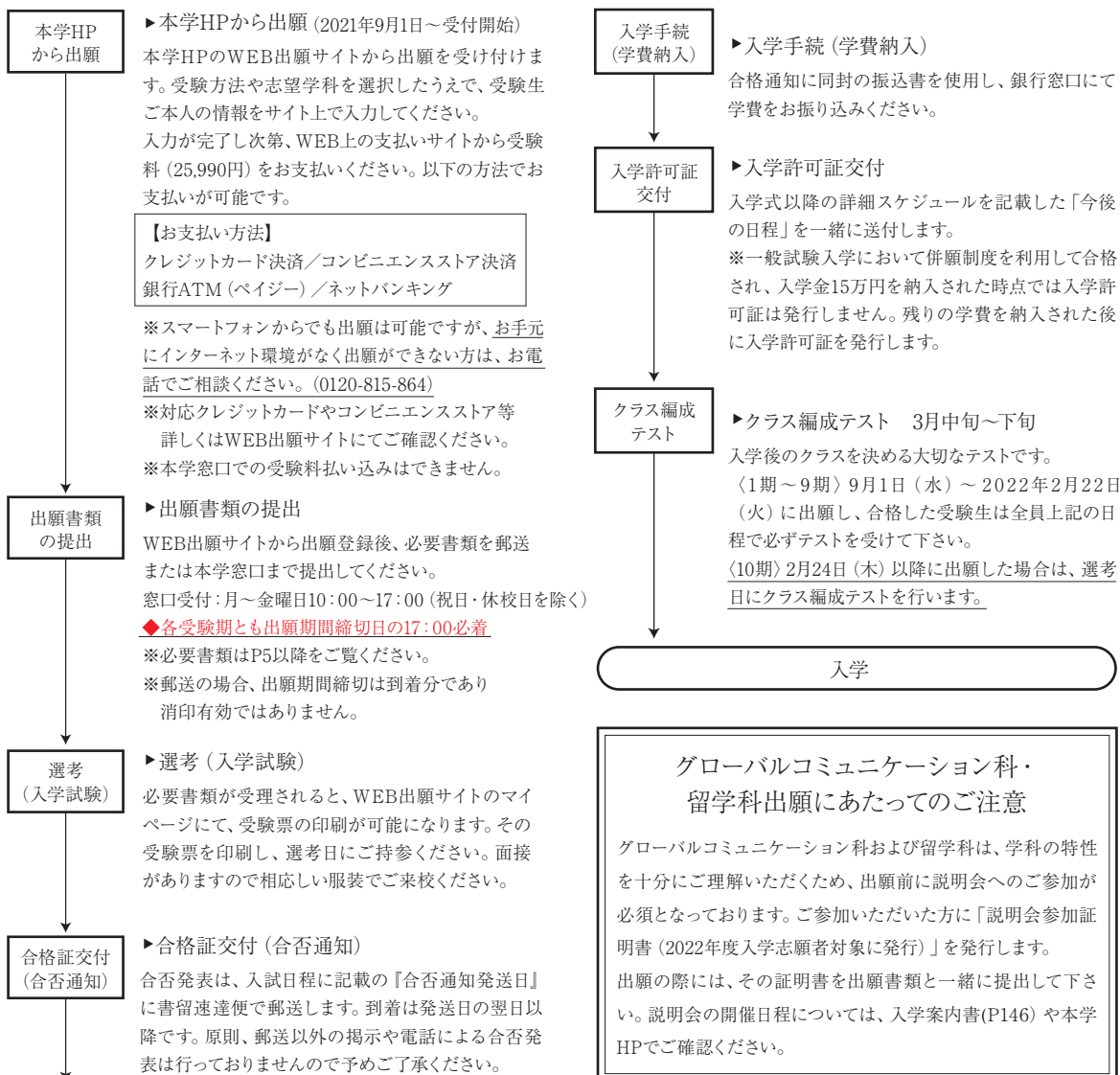
受験方法

下記いずれかの方法で出願・受験が可能です。出願方法については各ページでご確認ください。



※留学生の入学方法についてはP9をご覧ください。

出願から入学までの流れ <全出願方法共通>



募集学科と入学定員

| | 募集学科・コース | 日本語併修課程設置 | 受験方法 | | | | 募集対象 | 入学定員 | |
|---------------------------------|------------------------------|---------------|-------------|------|------|--------------------------------|---------|------|------|
| | | | 学校推薦 | 自己推薦 | 一般試験 | 特別試験 <small>外国人留学生等</small> | | | |
| 昼間部2年制 | 英語専攻科 | ● | ○ | ○ | ○ | | 男・女 | 560名 | |
| | アジア/ヨーロッパ言語科 (出願時にコースを選択) | フランス語コース | ● | ○ | ○ | ○ | | 男・女 | 200名 |
| | | スペイン語コース | ● | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | 中国語コース | ● | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | 韓国語コース | ● | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | インドネシア語コース | | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | ベトナム語コース | | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | タイ語コース | | ○ | ○ | ○ | | | |
| | 国際ビジネスキャリア科 | ● | ○ | ○ | ○ | | 男・女 | 120名 | |
| | 児童英語教育科 | ● | ○ | ○ | ○ | | 男・女 | 60名 | |
| | 国際エアライン科 (出願時にコースを選択) | キャビンアテンダントコース | ● | ○ | ○ | ○ | | 女子のみ | 140名 |
| | | グラウンドスタッフコース | ● | ○ | ○ | ○ | | | |
| | 国際観光科 | ● | ○ | ○ | ○ | | 男・女 | 60名 | |
| 国際ホテル科 | ● | ○ | ○ | ○ | | 男・女 | 60名 | | |
| グローバルコミュニケーション科 (出願時にコースを選択) | アントレプレナーシップコース | | | | ○ | 男・女 | 80名 | | |
| | 国際協力コース | | | | ○ | | | | |
| 留学科 | 海外大学3年次編入コース | | ○ | ○ | ○ | 男・女 | 140名 | | |
| | コミュニティカレッジコース | | ※2022年度募集停止 | | | | | | |
| 昼間部1年制 | 英語基礎養成科 | | | ○ | | 男・女 | 40名 | | |
| | 英語コミュニケーション専科 | ※2022年度募集停止 | | | | 男・女 | (40名) | | |
| | 国際エアライン専科 | ※2022年度募集停止 | | | | 女子のみ | (10名) | | |
| | 児童英語教育専科 | ※2022年度募集停止 | | | | 男・女 | (10名) | | |
| | | | | | | | 計1,520名 | | |

※募集定員は、推薦入学(学校推薦・自己推薦)60%、一般試験入学40%です。

※募集締切学科については、本学HP (<http://www.kandagaigo.ac.jp/kif/>) でご確認いただくか、お電話でお問い合わせください。

出願に関する注意事項

WEB出願サイトで出願登録を行ったうえ、出願書類を締切厳守で提出してください。

- (1) 出願書類は、P5以降に掲載されている出願方法ごとの要項をご参照のうえ、ご用意ください。
- (2) 出願書類が不備の場合、すべての書類が揃うまで受理・受験ができませんのでご了承ください。
- (3) 出願後における志望学科の変更や受験期・選考日の変更は認められません。
- (4) 一旦納入された受験料の返還、ならびに提出された出願書類の返却はできません。

入試日程

| 受験期 | 出願期間 | 選考日 | 可否通知発送日 | 入学手続締切日 |
|-----|--|-----------|--|-----------|
| 1期 | 2021年9月1日(水)～9月7日(火)到着分まで <small>※高等学校既卒者のみ出願可能</small> | 9月11日(土) | 9月14日(火) | 10月1日(金) |
| 2期 | 9月8日(水)～10月8日(金)到着分まで <small>※高等学校卒業見込み者の推薦入試の出願は10月1日(金)から受付開始</small> | 10月16日(土) | 10月21日(木) | 11月5日(金) |
| 3期 | 10月11日(月)～10月26日(火)到着分まで | 10月30日(土) | 11月2日(火) | 11月19日(金) |
| 4期 | 10月27日(水)～11月9日(火)到着分まで <small>※高等学校卒業見込み者の一般試験の出願は11月1日(月)から受付開始</small> | 11月13日(土) | 11月16日(火) | 12月3日(金) |
| 5期 | 11月10日(水)～12月7日(火)到着分まで | 12月11日(土) | 12月14日(火) | 1月7日(金) |
| 6期 | 12月8日(水)～12月17日(金)到着分まで | 1月8日(土) | 1月12日(水) | 1月28日(金) |
| 7期 | 2022年1月5日(水)～1月18日(火)到着分まで | 1月22日(土) | 1月25日(火) | 2月10日(木) |
| 8期 | 1月19日(水)～2月8日(火)到着分まで | 2月12日(土) | 2月15日(火) | 3月4日(金) |
| 9期 | 2月9日(水)～2月22日(火)到着分まで <small>※併願制度を利用できる最終出願期間</small> | 2月26日(土) | 3月1日(火) | 3月11日(金) |
| 10期 | 2月24日(木)～3月1日(火)到着分まで | 3月5日(土) | 3月8日(火) | 3月18日(金) |
| 11期 | 3月2日(水)～3月8日(火)到着分まで | 3月11日(金) | 3月15日(火) | 3月25日(金) |
| 12期 | 3月9日(水)～3月15日(火)到着分まで | 3月18日(金) | 3月23日(火) | 3月31日(木) |
| 13期 | 3月16日(水)～3月22日(火)到着分まで | 3月25日(金) | 3月28日(月) <small>※17:00にHPにて可否通知後 3月29日(火)発送</small> | 3月31日(木) |

※学校推薦・自己推薦・一般試験入学ともに、募集定員に達し次第、締め切りとなります。

※一般試験に関しては、辞退者が出た場合、募集を再開する場合があります。

※可否通知は、可否通知発送日に書留速達便で郵送します。到着は発送日の翌日以降です。(原則、学内掲示や電話による可否発表は行っておりません。)

併願制度について

一般試験入学・グローバルコミュニケーション科特別試験入学4期～9期の受験者は、大学・短大との併願制度を利用できます。

併願制度とは、入学金のみを納入することで、2022年3月11日(金)まで学籍を確保することができる制度です。

併願制度希望者は、出願時にWEB出願サイトの所定位置にチェックを入れてください。※出願後の変更はできませんので、ご注意ください。

合格の場合、入学手続書類と一緒に「併願申請書」が送られますので、上記の入学手続締切日までに必要事項を記入のうえ、神田外語学院に郵送で提出し、併せて入学金15万円を納入してください。入学する場合は、残りの学費を併願制度申請者の入学手続締切日(最長で2022年3月11日(金))までに納入することで入学手続が完了します。なお、一旦納入された入学金は返還いたしませんので予めご了承ください。

※ただし姉妹校・神田外語大学に合格し入学する場合は、4月以降に入学金を返還いたします。※高校既卒の受験者は1期から併願制度を利用できます。

高校既卒者出願期間

社会人や大学生など高校既卒者は、全学科・全出願方法において9月1日(水)より出願を受け付けます。

海外の高校を卒業した場合

自己推薦、一般試験、グローバルコミュニケーション科特別試験で出願が可能です。それぞれの受験方法における出願書類を各出願方法のページで確認のうえ、出願前にお電話でご確認ください。

留学生の入学

出願期間 2期:2021年10月1日(金)～5期:12月7日(火)

※詳細はP9をご確認ください。

※出願前には、必ずお電話でご確認ください。

※留学生はWEB出願に加え、志望理由書や健康診断書など紙で提出する書類は必ず窓口にて持参してください。

※現在、就労・家族滞在等の在留資格で日本国内に在住している場合は、以降の出願も受け付けますのでお電話でご相談ください。

お問い合わせ先:神田外語学院 アドミッション&コミュニケーション部
フリーダイヤル:0120-815-864/TEL:03-3258-5838

学校推薦

出願資格

心身共に健康であり、A、B、Cのいずれかに該当すること。合格した場合必ず入学することを条件とする。

- A. 2022年3月に高等学校卒業見込者、または卒業後1年以内の者。
- B. 2022年3月に大学・短大・専門学校（2年制専門課程）卒業見込者、または卒業後1年以内の者。
- C. 通常の課程における12年の学校教育修了見込者、または修了後1年以内の者。

※入学時に18歳以上であること。出願資格を満たしていれば年齢の上限は問いません。 ※他校との併願は認められません。

※海外の学校を卒業した方は学校推薦では出願できません。 ※留学生の入学についてはP9をご覧ください。

◆通常の学科・コースのカリキュラムに加え、日本語も学ぶことができる「日本語併修課程」については、P10をご確認下さい。日本語併修課程は日本以外での国や地域での滞在期間が長く、日本語力に不安をお持ちの方などを対象にしている課程です。日本語を基礎から学びたい方向けの課程ではありません。

※一部の学科・コースは対象外です。 ※日本語併修課程を履修しても、学費の追納は必要ありません。

| | |
|------|------------------------------|
| 対象学科 | 2年制課程全学科（グローバルコミュニケーション科を除く） |
|------|------------------------------|

| | |
|------|--|
| 選考方法 | 書類選考、日本語による面接 ※統計資料作成のための語彙力調査（英語）を行います。 |
|------|--|

| | |
|------|---|
| 推薦基準 | <p>A. 高等学校卒業（見込）者</p> <p>下記の<u>いずれか一つ</u>に該当すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高校での英語の評定平均値が5段階評価で3.0以上 ●高校での全教科の評定平均値が5段階評価で3.0以上 ●実用英語技能検定準2級以上 ●TOEIC®350点以上 ●TOEFL iBT®40点以上 ●GTECトータルスコア820点以上 ●日商簿記検定2級以上 ●高校入学時から調査書作成日まで皆勤の者 ●生徒会長、生徒会副会長を経験した者 <p>B. 大学・短大・専門学校卒業（見込）者</p> <ul style="list-style-type: none"> ①英語科・英文科・国際科・語学ビジネス課程の専攻者については、高等学校での評価を問わない。 最終学歴校の成績証明書を提出すること。 ②上記以外の課程の専攻者については、推薦基準Aの高等学校卒業（見込）者の推薦基準と同様。 <p>C. 通常の課程における12年の学校教育修了（見込）者</p> <p>推薦基準Aの高等学校卒業（見込）者の推薦基準と同様。</p> |
|------|---|

| | |
|------|---|
| 出願書類 | <p>A. 高等学校卒業（見込）者／ C. 通常の課程における12年の学校教育修了（見込）者</p> <ul style="list-style-type: none"> ①志望理由書（所定用紙/WEBからダウンロード/400字以内） ②誓約書（所定用紙/WEBからダウンロード） ③学校推薦書（所定用紙/WEBからダウンロード/厳封されたもの/発行より3ヵ月以内のもの） ④調査書（厳封されたもの/卒業見込者は、発行より3ヵ月以内のもの） ※在学中に「留学」で単位が認められている場合は、留学中の成績証明書（学校長が原本に相違ないと証明したコピー）も併せて提出すること。 ⑤写真（WEB出願サイトでアップロード） ※実用英語技能検定準2級以上、TOEIC®350点以上、TOEFL iBT®40点以上、GTECトータルスコア820点以上、日商簿記検定2級以上の いずれか一つを推薦基準とする場合は、その合格証のコピー、またはスコアレコードのコピーを提出すること。（GTECはオフィシャルスコアに限る） ※2022年3月高等学校卒業見込者の健康診断書は不要。ただし、健康診断を実施していない高校に在籍している場合、 または2021年3月卒業者は、健康診断書を提出すること。（その場合は原則として所定用紙・発行より3ヵ月以内のもの） ⑥留学科説明会参加証明書（留学科出願者のみ）※第二志望で留学科を選択する場合も、「説明会参加証明書」が必要になります。 <p>B. 大学・短大・専門学校卒業（見込）者</p> <ul style="list-style-type: none"> ①志望理由書（所定用紙/WEBからダウンロード/400字以内） ②誓約書（所定用紙/WEBからダウンロード） ③学校推薦書（所定用紙/WEBからダウンロード/厳封されたもの/発行より3ヵ月以内のもの） ④成績証明書（厳封されたもの/入学・卒業（見込）年月の記載がない場合は卒業（見込）証明書も提出/ 卒業見込者は、発行より3ヵ月以内のもの） ⑤写真（WEB出願サイトでアップロード/3ヵ月以内に撮影したもの） ⑥健康診断書（原則として所定用紙/WEBからダウンロード/発行より3ヵ月以内のもの） ※2022年3月卒業見込者は、その学校所定の健康診断書でも可。 ⑦留学科説明会参加証明書（留学科出願者のみ）※第二志望で留学科を選択する場合も、「説明会参加証明書」が必要になります。 |
|------|---|

自己推薦

出願資格

英語が好きで「勉強したい」という強い意欲を持っており、下記のいずれかに該当すること。

また、心身共に健康であり、合格した場合必ず入学することを条件とする。

A. 2022年3月に高等学校・大学・短大・専門学校(2年制専門課程)卒業見込者、

および同教育機関を既に卒業している者。

B. 通常の課程における12年の学校教育修了(見込)者。

C. 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者。

D. 文部科学大臣の行う大学入学資格検定合格者。

E. 文部科学大臣の認定した在外教育施設の当該課程修了(見込)者。

F. 文部科学大臣の指定した者。

※入学時に18歳以上であること。出願資格を満たしていれば年齢の上限は問いません。※他校との併願は認められません。※留學生の入学についてはP9をご覧ください。

◆通常の学科・コースのカリキュラムに加え、日本語も学ぶことができる「日本語併修課程」については、P10をご確認下さい。日本語併修課程は日本以外での国や地域での滞在期間が長く、日本語力に不安をお持ちの方などを対象にしている課程です。日本語を基礎から学びたい方向けの課程ではありません。

※一部の学科・コースは対象外です。※日本語併修課程を履修しても、学費の追納は必要ありません。

| | |
|-------------|---|
| 対象学科 | 2年制課程全学科(グローバルコミュニケーション科を除く)、1年制課程英語基礎養成科 |
| 選考方法 | 書類選考、日本語による面接 ※2004(平成16)年度までの大学入学資格検定合格者で、合格した科目または免除科目に英語がない場合は、英語の試験を行い可否の参考とします。 ※統計資料作成のための語彙力調査(英語)を行います。 |
| 推薦基準 | 推薦基準はあなたの「やる気」です。「英語が好きで、ぜひ神田外語学院に入って勉強したい」という強い意欲を持っている人、また自分の持っている技能・技術・才能・計画・アイデアなどを将来、国際社会で活かしたいと強く希望している人など、自分自身を強くアピールできる人は誰でも資格があります。 ※大検や高卒認定試験合格者・社会人・浪人生・留学経験者など、この自己推薦制度で多数入学しています。 |
| 出願書類 | <p>①志望理由及び自己推薦文(所定用紙/WEBからダウンロード/800字以内) 志望する理由に加え、学習意欲・長所・特技・経験などセールスポイントと考えられるものを、アピールして下さい。</p> <p>②誓約書(所定用紙/WEBからダウンロード)</p> <p>③下記のa～fの該当するいずれかの書類</p> <p>a. 高等学校卒業(見込)者:調査書(厳封されたもの/卒業見込者は、発行より3ヵ月以内のもの) ※在学中に「留学」で単位が認められている場合は、留学中の成績証明書(学校長が原本に相違ないと証明したコピー)も併せて提出すること。 ※高等学校での調査書保存期間が過ぎてしまっており発行ができない場合は、入試センターまでご相談下さい。</p> <p>b. 大学・短大・専門学校卒業(見込)者:成績証明書(厳封されたもの/入学・卒業(見込)年月の記載がない場合は卒業(見込)証明書も提出。卒業見込者は、発行より3ヵ月以内のもの)</p> <p>c. 高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者:合格成績証明書または合格見込成績証明書(厳封されたもの) ※合格見込成績証明書を提出した場合は、入学前までに合格成績証明書を必ず提出すること。</p> <div data-bbox="329 1265 1053 1329" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>※免除科目がある場合は、その科目の「単位・成績修得の証明書」(履修した高等学校で発行)も併せて提出すること。 また、技能審査合格により科目の免除を受ける場合には「合格証明書」も提出すること。</p></div> <p>d. 大学入学資格検定合格者:合格成績証明書(厳封されたもの)</p> <div data-bbox="329 1362 1053 1425" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>※免除科目がある場合は、その科目の「単位・成績修得の証明書」(履修した高等学校で発行)も併せて提出すること。 また、技能審査合格により科目の免除を受ける場合には「合格証明書」も提出すること。</p></div> <p>e. 通常の課程における12年の学校教育修了(見込)者:修了証明書および成績証明書 (修了見込者は、発行より3ヵ月以内のもの)</p> <p>f. 海外の学校卒業者:海外の出身校の卒業証明書(原本)または卒業証書のコピーおよび成績証明書(原本) ※いずれの書類も日本語または英語のもの。</p> <p>④写真(WEB出願サイトでアップロード/3ヵ月以内に撮影したもの)</p> <p>⑤健康診断書(原則として所定用紙/WEBからダウンロード/発行より3ヵ月以内のもの) ※2022年3月高等学校卒業見込者は不要。ただし、健康診断を実施していない高校に在籍している場合は、健康診断書を提出すること。 ※2022年3月大学・短大・専門学校卒業見込者は、その学校所定の健康診断書でも可。</p> <p>⑥留学科説明会参加証明書(留学科出願者のみ)※第二志望で留学科を選択する場合も、「説明会参加証明書」が必要になります。</p> |

出願資格

心身共に健康であり、下記のいずれかに該当すること。

- A. 2022年3月に高等学校・大学・短大・専門学校（2年制専門課程）卒業見込者、および同教育機関を既に卒業している者。
- B. 通常の課程における12年の学校教育修了（見込）者。
- C. 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験合格（見込）者。
- D. 文部科学大臣の行う大学入学資格検定合格者。
- E. 文部科学大臣の認定した在外教育施設の当該課程修了（見込）者。
- F. 文部科学大臣の指定した者。

※入学時に18歳以上であること。出願資格を満たしていれば年齢の上限は問いません。 ※大学・短大との併願制度を利用できます。 ※留学生の入学についてはP9をご覧ください。

◆通常の学科・コースのカリキュラムに加え、日本語も学ぶことができる「日本語併修課程」については、P10をご確認ください。日本語併修課程は日本以外での国や地域での滞在期間が長く、日本語力に不安をお持ちの方などを対象にしている課程です。日本語を基礎から学びたい方向けの課程ではありません。

※一部の学科・コースは対象外です。 ※日本語併修課程を履修しても、学費の追納は必要ありません。

| | |
|------|------------------------------|
| 対象学科 | 2年制課程全学科（グローバルコミュニケーション科を除く） |
|------|------------------------------|

| | |
|------|--------------------------------------|
| 選考方法 | 英語試験（マークシート方式、60分間、リスニングなし）、日本語による面接 |
|------|--------------------------------------|

| | |
|------|--|
| 出願書類 | <p>①志望理由書（所定用紙/WEBからダウンロード/400字以内）</p> <p>②誓約書（所定用紙/WEBからダウンロード）</p> <p>③下記のa～fの該当するいずれかの書類</p> <p>a. 高等学校卒業（見込）者：調査書（厳封されたもの/卒業見込者は、発行より3ヵ月以内のもの） <small>※在学中に「留学」で単位が認められている場合は、留学中の成績証明書（学校長が原本に相違ないと証明したコピー）も併せて提出すること。 ※高等学校での調査書保存期間が過ぎてしまっており発行ができない場合は、入試センターまでご相談下さい。</small></p> <p>b. 大学・短大・専門学校卒業（見込）者：成績証明書（厳封されたもの/入学・卒業（見込）年月の記載がない場合は卒業（見込）証明書も提出。卒業見込者は、発行より3ヵ月以内のもの）</p> <p>c. 高等学校卒業程度認定試験合格（見込）者：合格成績証明書または合格見込成績証明書（厳封されたもの） <small>※合格見込成績証明書を提出した場合は、入学前までに合格成績証明書を必ず提出すること。</small></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <small>※免除科目がある場合は、その科目の「単位・成績修得の証明書」（履修した高等学校で発行）も併せて提出すること。 また、技能審査合格により科目の免除を受ける場合には「合格証明書」も提出すること。</small> </div> <p>d. 大学入学資格検定合格者：合格成績証明書（厳封されたもの） <small>※免除科目がある場合は、その科目の「単位・成績修得の証明書」（履修した高等学校で発行）も併せて提出すること。 また、技能審査合格により科目の免除を受ける場合には「合格証明書」も提出すること。</small></p> <p>e. 通常の課程における12年の学校教育修了（見込）者：修了証明書および成績証明書（修了見込者は、発行より3ヵ月以内のもの）</p> <p>f. 海外の学校卒業者：海外の出身校の卒業証明書（原本）または卒業証書のコピーおよび成績証明書（原本） <small>※いずれの書類も日本語または英語のもの。</small></p> <p>④写真（WEB出願サイトでアップロード/3ヵ月以内に撮影したもの）</p> <p>⑤健康診断書（原則として所定用紙/WEBからダウンロード/発行より3ヵ月以内のもの） <small>※2022年3月高等学校卒業見込者は不要。ただし、健康診断を実施していない高校に在籍している場合は、健康診断書を提出すること。 ※2022年3月大学・短大・専門学校卒業見込者は、その学校所定の健康診断書でも可。</small></p> <p>⑥留学科説明会参加証明書（留学科出願者のみ）※第二志望で留学科を選択する場合も、「説明会参加証明書」が必要になります。</p> |
|------|--|

| | |
|------|---|
| 併願制度 | <p>一般試験入学4期～9期の受験者は、大学・短大との併願制度を利用できます。</p> <p>併願制度とは入学金のみを納入することで、2022年3月11日（金）まで学籍を確保することができる制度です。</p> <p>希望者は、出願時にWEB出願サイトの所定位置にチェックを入れてください。※出願後の変更はできませんので、ご注意ください。</p> <p>合格の場合、入学手続書類と一緒に「併願申請書」が送られますので、入学手続締切日までに必要事項を記入のうえ、神田外語学院宛に郵送で提出し、併せて入学金15万円を納入してください。入学する場合は、残りの学費を併願制度申請者の入学手続締切日（最長で2022年3月11日（金））までに納入することで入学手続が完了します。なお、一旦納入された入学金は返還いたしませんので予めご了承ください。</p> <p>※ただし姉妹校・神田外語大学に合格し入学する場合は、4月以降に入学金を返還いたします。</p> <p>※高校既卒の受験者は1期から併願制度を利用できます。</p> |
|------|---|

グローバルコミュニケーション科特別試験

出願資格

心身共に健康であり、下記のいずれかに該当すること。

- A. 2022年3月に高等学校・大学・短大・専門学校（2年制専門課程）卒業見込者、および同教育機関に既に卒業している者。
- B. 通常の課程における12年の学校教育修了（見込）者。
- C. 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験合格（見込）者。
- D. 文部科学大臣の行う大学入学資格検定合格者。
- E. 文部科学大臣の認定した在外教育施設の当該課程修了（見込）者。
- F. 文部科学大臣の指定した者。

※入学時に18歳以上であること。出願資格を満たしていれば年齢の上限は問いません。

※大学・短大との併願制度を利用できます。

※留学生の入学についてはP9をご覧ください。

【出願にあたってのご注意】

グローバルコミュニケーション科の卒業要件には、指定された**授業科目・単位（147単位）**を充たし、かつTOEIC®800点を取得することが定められています。出願前に、このことを十分ご理解下さい。出願前に上記卒業要件やカリキュラム内容等を十分ご理解いただくために、本学科の説明会に必ずご参加下さい。ご参加いただいた方に「説明会参加証明書（2022年度入学志願者対象に発行）」を発行します。本学科へ出願の際には、その証明書を出願書類と一緒に提出して下さい。説明会の開催日程については、入学案内書（P146）や本学HPでご確認下さい。

対象学科

グローバルコミュニケーション科

選考方法

日本語小論文、英語試験（マークシート方式、リスニングあり）
日本語による面接、英語による面接

出願書類

- ①志望理由書（所定用紙/WEBからダウンロード/400字以内）
- ②誓約書（所定用紙/WEBからダウンロード）
- ③下記のa～fの該当するいずれかの書類
 - a. 高等学校卒業（見込）者：調査書（厳封されたもの/卒業見込者は、発行より3ヵ月以内のもの）
※在学中に「留学」で単位が認められている場合は、留学中の成績証明書（学校長が原本に相違ないや証明したコピー）も併せて提出すること。
※高等学校での調査書保存期間が過ぎてしまっており発行ができない場合は、入試センターまでご相談下さい。
 - b. 大学・短大・専門学校卒業（見込）者：成績証明書（厳封されたもの/入学・卒業（見込）年月の記載がない場合は卒業（見込）証明書も提出。卒業見込者は、発行より3ヵ月以内のもの）
 - c. 高等学校卒業程度認定試験合格（見込）者：合格成績証明書または合格見込成績証明書（厳封されたもの）
※合格見込成績証明書を提出した場合は、入学前までに合格成績証明書を必ず提出すること。
※免除科目がある場合は、その科目の「単位・成績修得の証明書」（履修した高等学校で発行）も併せて提出すること。
また、技能審査合格により科目の免除を受ける場合には「合格証明書」も提出すること。
 - d. 大学入学資格検定合格者：合格成績証明書（厳封されたもの）
※免除科目がある場合は、その科目の「単位・成績修得の証明書」（履修した高等学校で発行）も併せて提出すること。
また、技能審査合格により科目の免除を受ける場合には「合格証明書」も提出すること。
 - e. 通常の課程における12年の学校教育修了（見込）者：修了証明書および成績証明書（修了見込者は、発行より3ヵ月以内のもの）
 - f. 海外の学校卒業者：海外の出身校の卒業証明書（原本）または卒業証書のコピーおよび成績証明書（原本）
※いずれの書類も日本語または英語のもの。
- ④写真（WEB出願サイトでアップロード/3ヵ月以内に撮影したもの）
- ⑤健康診断書（原則として所定用紙/WEBからダウンロード/発行より3ヵ月以内のもの）
※2022年3月高等学校卒業見込者は不要。ただし、健康診断を実施していない高校に在籍している場合は、健康診断書を提出すること。
※2022年3月大学・短大・専門学校卒業見込者は、その学校所定の健康診断書でも可。
- ⑥グローバルコミュニケーション科説明会参加証明書

併願制度

グローバルコミュニケーション科特別試験入学4期～9期の受験者は、大学・短大との併願制度を利用できます。併願制度とは入学金のみを納入することで、2022年3月11日（金）まで学籍を確保することができる制度です。

希望者は、出願時にWEB出願サイトの所定位置にチェックを入れてください。※出願後の変更はできませんので、ご注意ください。

合格の場合、入学手続書類と一緒に「併願申請書」が送られますので、入学手続締切日までに必要事項を記入のうえ、神田外語学院宛に郵送で提出し、併せて入学金15万円を納入してください。入学する場合は、残りの学費を併願制度申請者の入学手続締切日（最長で2022年3月11日（金））までに納入することで入学手続が完了します。なお、一旦納入された入学金は返還いたしませんので予めご了承ください。

※ただし姉妹校・神田外語大学に合格し入学する場合は、4月以降に入学金を返還いたします。

※高校既卒の受験者は1期から併願制度を利用できます。

留学生特別試験

出願資格 ※出願前に必ずお電話でご連絡ください(0120-815-864)。

心身共に健康であり、下記の全ての項目を満たしていること。合格した場合必ず入学することを条件とする。

1. 18歳以上で12年間※の学校教育課程を修了している者。※12年間に満たない場合、お電話でご相談ください。
2. 留学生ビザ(在留資格:留学)を取得可能な者。
3. 次のa. bいずれかに該当し、日本語が堪能な者。(日本語による授業にさしつかえの無い者)
 - a. 日本語能力試験のN1級またはN2級に合格した者。
 - b. (一財)日本語教育振興協会の認定施設であり、法務大臣により告示されている日本語教育施設で6ヵ月以上の日本語教育を受けた者。
4. 日本在住※1または海外在住※2の保証人がいること。
 - ※1日本人または日本に定住資格を持つ外国人。
 - ※2原則的に両親または親族のいずれか。保証人になる方のパスポートや運転免許証など公的な身分証明書のコピー及び連絡先(住所・電話番号・メールアドレス)を提出すること。またその場合、日本在住で日本語をよく理解できる方を別途、身元引受人※3として用意できること。
 - ※3身元引受人とは、緊急時(怪我や病気、事故・事件が発生した時など)に連絡が取れる20歳以上の友人・知人で日本在住の方。なお、身元引受人は、授業料等の金銭的負担を負うことはありません。

| | |
|------|--|
| 対象学科 | 2年制課程全学科 ※ただしグローバルコミュニケーション科を志望する場合は、日本語小論文、英語による面接を追加 |
|------|--|

| | |
|------|-----------------------|
| 受付方法 | WEB出願／出願書類の提出は窓口でのみ受付 |
|------|-----------------------|

| | |
|------|--------------------------------|
| 出願期間 | 2期:2021年10月1日(金)～5期:12月7日(火)まで |
|------|--------------------------------|

※現在、就労・家族滞在等の在留資格で日本国内に在住している場合は、以降の出願も受け付けます。お電話でご相談ください。

| | |
|------|---|
| 選考方法 | 1. 書類選考 2. 日本語および英語の試験 3. 日本語による面接 4. 保証人または身元引受人面接 |
|------|---|

| | |
|------|---|
| 出願書類 | <p>①志望理由及び自己推薦文(所定用紙/WEBからダウンロード/800字以内) 志望する理由に加え、学習意欲・長所・特技・経験などセールスポイントと考えられるものを、アピールして下さい。</p> <p>②誓約書(所定用紙/WEBからダウンロード)</p> <p>③学歴証明書:出身国での最終教育機関(日本語学校は含まない)の日本語または英語による卒業証明書と成績証明書(原本に限る) ※学歴証明書が日本語または英語以外で書かれていた場合、専門機関で日本語または英語に翻訳されたものを提出してください。</p> <p>④写真(WEB出願サイトでアップロード)</p> <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈出願資格:3でaに該当する場合〉</p> <p>⑤日本語能力証明書:日本語能力試験N1級またはN2級の認定証又は合格通知のコピー</p> </div> <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈出願資格:3でbに該当する場合〉</p> <p>⑥日本語学校からの学校推薦書(所定用紙・厳封されたもの。発行より3ヵ月以内のもの)</p> <p>⑦日本語学校の成績証明書(出席状況・在学期間含む。厳封されたもの)</p> </div> <p>⑧健康診断書(原則として所定用紙/WEBからダウンロード/発行より3ヵ月以内のもの)</p> <p>⑨パスポートのコピー(出願時にパスポート原本を持参して下さい)</p> <p>⑩外国人登録証明書または在留カードのコピー(出願時に外国人登録証明書または在留カードを持参して下さい)</p> <p>⑪学費支払能力証明書:本人または保証人の銀行残高証明書(100万円以上/通帳のコピーは不可)</p> <p>⑫保護者(保証人)のパスポートや運転免許証など公的な身分証明書のコピー及び連絡先(住所・電話番号・メールアドレス) ※保護者(保証人)が海外在住の場合のみ要提出。</p> <p>⑬留学科説明会参加証明書(留学科出願者のみ)※第二志望で留学科を選択する場合も、「説明会参加証明書」が必要になります。</p> <p>⑭グローバルコミュニケーション科説明会参加証明書(グローバルコミュニケーション科出願者のみ)</p> |
|------|---|

「英語 + α 」+ 日本語を学ぶ

国際化が進む日本において、近年様々な経歴を持つ受験生が増えてきました。ご両親が外国籍、もしくはご両親のどちらかが外国籍の方などで、日本以外の国や地域での滞在期間が長く、日本語力に不安をお持ちの方に対し、通常の学科・コースのカリキュラムにプラスして日本語を学ぶことができる「日本語併修課程」を設置しています。神田外語学院で「英語 + α 」を身につけながら日本語力を向上させ、国際社会で活躍してほしい、そんな願いがこもった併修課程です。

[設置学科・コース]

英語専攻科、アジア/ヨーロッパ言語科フランス語・スペイン語・中国語・韓国語各コース、国際ビジネスキャリア科、児童英語教育科、国際エアライン科、国際観光科、国際ホテル科

[対 象]

日本語能力試験N2級程度の日本語力を有する方で、各学科で学びつつ日本語力を向上させたい方

- ◎ アジア/ヨーロッパ言語科インドネシア語・ベトナム語・タイ語各コース、グローバルコミュニケーション科、留学科、1年制課程には設置していません。
- ◎ 通常の学科・コースにお願いいただいた方でも、入試結果により、日本語による授業にさしかえがあると判断された場合、当課程を履修していただく場合があります。
- ◎ 日本語を基礎から学べる課程ではありません。 ◎ 当課程を履修しても、学費の追納は必要ありません。
- ◎ 選考日当日に、日本語試験(日本語能力試験N2級程度)の受験が必要です。

[Curriculum]

各学科・コースのカリキュラムに、「日本語1」(1年次)と「日本語2」(2年次)の2科目を併修科目として履修します。当課程履修者は、卒業時まで通常履修単位数に加え、併修単位数23単位を履修しなければなりません。日本語1は、「読む」「書く」「発表する」を中心とした授業を週3回受講し、日本語による授業をさしかえなく受講できる日本語力を身につけ、日本語能力試験N1級をめざします。日本語2は、「書く」「発表する」を中心とした授業を週2回受講し、小論文、エントリーシート、日本語面接の対策を行います。

| | 授業名 | 1年次 | | | 2年次 | | | |
|-----------------------------|--|--------------------------|-----|-----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | | 1学期 | 2学期 | 3学期 | 1学期 | 2学期 | 3学期 | |
| 共通科目 | EIC (English for International Communication) | Communication Strategies | 10 | 10 | 5 | 8 | 8 | 4 |
| | | English Foundations | | | | | | |
| | | English in Practice | | | | | | |
| | | Ideas & Opinions | | | | | | |
| | HELP (Hybrid English Learning Program) | Hybrid English Learning1 | 2 | 2 | | (2) ^{※1} | (2) ^{※1} | |
| | | Hybrid English Learning2 | | | | | | |
| | TOEIC® | TOEIC®講座1A (Reading) | 4 | 4 | (2) ^{※2} | (2) ^{※2} | (2) ^{※2} | (1) ^{※3} |
| TOEIC®講座1B (Listening) | | | | | | | | |
| TOEIC®講座2 | | | | | | | | |
| 英語基礎演習 (英文法) | ※英語専攻科では専門科目として学びます。 | 2 | 2 | | | | | |
| キャリア開発 | | 2 | 2 | 1 | (2) ^{※1} | (2) ^{※1} | | |
| IT (Information Technology) | ビジネスソフト・トレーニング | 2 | 2 | 1 | | | | |
| 専門科目・専攻科目 | ● 学科・専攻ごとに設置された科目で専門のスキルや知識を学びます。 | 45～56 ^{※4} | | | | | | |
| 自由選択科目 | ● 3学期は、自分の目的に合わせて自由に科目を選択し履修することができます。 | | | | | | | |
| 通常履修単位数 小計 | | 130 | | | | | | |
| 併修科目 | 日本語1 | 6 | 6 | 3 | | | | |
| | 日本語2 | | | | 4 | 4 | | |
| 併修単位数 小計 | | 23 | | | | | | |
| 合計 | | 153 | | | | | | |

※1 英語専攻科の医療通訳専攻では、2年次の「HELP」、「キャリア開発」はありません。他の学科・専攻・コースは必修科目です。

※2 アジア/ヨーロッパ言語科 フランス語・スペイン語・中国語・韓国語各コースでは選択科目となります。他の学科・専攻・コースは必修科目です。

※3 英語専攻科では必修科目として学びます。他の学科・専攻・コースにはありません。

※4 カリキュラムや修得単位数の内訳は各学科・専攻・コースによって異なります。詳しくは、入学案内書をご覧ください。

入試についてのQ&A

【出願】

Q: 願書を提出した後に学科・コースの変更はできますか?

A: 出願後の学科・コースの変更は認められません。どうしても変更したいという場合は、すべての書類を揃えて再受験していただくことになります。その際、納入された受験料などは返金できませんので予めご了承ください。

Q: 推薦入学はいつ締め切りますか?

A: 推薦入学は募集定員に達し次第、締め切りとなります。推薦入学で締め切りとなった学科への出願は、一般試験入学のみの受付となりますが、一般試験入学も定員に達した場合は以降の受付を停止します。ただし一般試験入学に関しては、辞退者が出た場合、募集を再開する場合があります。
※願書受付開始後の募集状況は、お電話でお問い合わせいただくか、本学HPでご確認ください。

【選考】

Q: 面接の形式や質問内容を教えてください。

A: 面接は面接官2名、受験生3～5名のグループ面接で、約20分間、日本語で行います(グループディスカッションは行いません)。面接では志望動機、入学後・卒業後の目標、将来の夢、これまでに一番頑張ったことなどを質問します。落ち着いてあなたの言葉で話してください。

Q: 一般試験入学の英語試験のレベルと出題形式を教えてください。

A: 高校での教科書にやや英会話の知識を加えた、実用英語技能検定の準2級から2級のレベルです。会話文完成問題や慣用句、文法問題、長文読解問題などが例年出題されています。試験対策としては、実用英語技能検定の問題集を解くことや、英会話のテキストに出てくる重要表現などを練習すること、The Japan Newsなどの英字新聞を読んで重要ポイントを読み取ることに慣れておくとうまいでしょう。

Q: 高校での欠席が多いと、選考の際問題になりますか?

A: 3年間で欠席が20日を超えている場合は、受験生本人または先生に理由を確認しています。欠席理由が「病気」「ケガ」などで、現在は回復し通学に問題がないということであれば大丈夫です。その他の理由の場合は、面接で受験生本人に入学後の語学習得の意欲などを確認しています。

Q: 統計資料作成のための語彙力調査(英語)とは何でしょうか?

A: 英単語が25問(3択)出題されます。これは受験生の語彙力について毎年調査を行っているもので、合否には関係ありません。気負わずにご回答ください。

学費

- (1) 合格者は、入学手続き時に手続書類の中にある振込み用紙を使用し、学費を銀行にお振込み下さい。(本学窓口では受け付けません)
(2) 学費の納入方法は原則として一括納入ですが、下記のように分納することも可能です。 ※一旦納入された学費は返還いたしませんので予めご了承ください。

| 初年度 (1年次) | 学科 | 学費(初年度分) | | | | 分納の場合 | | |
|--------------|---------------------------------------|----------|------------|----------|------------|------------|----------|----------|
| | | 入学金 | 授業料 | 施設維持費 | 合計 | 入学手続き時 | 3月31日まで | 7月16日まで |
| 昼間部 2年制課程 | 2年制全学科(下記学科コースを除く) | 150,000円 | 970,000円 | 250,000円 | 1,370,000円 | 920,000円 | 200,000円 | 250,000円 |
| | アジア/ヨーロッパ言語科 インドネシア語・ベトナム語・タイ語各コース | 150,000円 | 1,170,000円 | 250,000円 | 1,570,000円 | 1,020,000円 | 300,000円 | 250,000円 |
| | グローバルコミュニケーション科 | 150,000円 | 1,170,000円 | 250,000円 | 1,570,000円 | 1,020,000円 | 300,000円 | 250,000円 |
| | 留学科 | 150,000円 | 1,070,000円 | 250,000円 | 1,470,000円 | 970,000円 | 250,000円 | 250,000円 |
| 昼間部 1年制課程 | 英語基礎養成科 | 150,000円 | 970,000円 | 250,000円 | 1,370,000円 | 920,000円 | 200,000円 | 250,000円 |

※「日本語併修課程」を履修した場合、学費の追納は必要ありません。
※上記学費の他、入学後に教材費・諸経費(同窓会組織維持費、保険料などを含む)が80,000円～150,000円程度必要となります。
※アジア/ヨーロッパ言語科インドネシア語・ベトナム語・タイ語各コースでは、上記学費以外に約6ヵ月間の留学費用(約40万円～60万円)が必要になります。

| 2年次 | 学科 | 学費(2年次分) | | | | 分納の場合 | | |
|--------------|---------------------------------------|----------|------------|----------|------------|------------|----------|---|
| | | 入学金 | 授業料 | 施設維持費 | 合計 | 3月中旬 | 7月中旬 | — |
| 昼間部 2年制課程 | 2年制全学科(下記学科コースを除く) | — | 970,000円 | 300,000円 | 1,270,000円 | 1,020,000円 | 250,000円 | — |
| | アジア/ヨーロッパ言語科 インドネシア語・ベトナム語・タイ語各コース | — | 970,000円 | 300,000円 | 1,270,000円 | 1,020,000円 | 250,000円 | — |
| | グローバルコミュニケーション科 | — | 1,170,000円 | 300,000円 | 1,470,000円 | 1,220,000円 | 250,000円 | — |
| | 留学科 | — | 1,070,000円 | 300,000円 | 1,370,000円 | 1,120,000円 | 250,000円 | — |

※「日本語併修課程」を履修した場合、学費の追納は必要ありません。
※施設維持費は550,000円を1年次、2年次で分割納入していただきます。
※上記学費の他、教材費・諸経費(同窓会組織維持費、保険料などを含む)が80,000円～150,000円程度必要となります。

入学辞退者に対する学費の取扱について

2022年3月31日(木)までに入学辞退の意思表示をした一般試験入学の合格者については、原則として、受験生等が納入した授業料及び施設維持費を返還します。

※推薦入学試験(学校推薦・自己推薦)、またはグローバルコミュニケーション科特別試験に合格して入学手続きを完了した受験生は対象となりません。

入学金返還制度

志願者本人が神田外語学院昼間部・旧夜間部専門課程・旧日本語科・神田外語大学の卒業生、または志願者の両親・兄弟・姉妹のいずれかが卒業しているか、在籍している場合は、入学後の手続きにより、入学金を返還いたします。この制度を利用する場合は、入学後に神田外語いしずあ会までお問い合わせください。入学金返還に関する手続きのご案内をいたします。

奨学金制度

神田外語学院が窓口となり取り扱っている貸与型奨学金は「日本学生支援機構」、「東京都私学財団」の2つです。

各奨学金の初回振込み月は、日本学生支援機構の「予約採用」が5月中旬、「定期採用」が7月中旬、東京都私学財団が8月中旬です。

そのため入学金等の初年度学費に充当することはできません。

独立行政法人 日本学生支援機構 奨学金

専門学校に在学する学生で人物・学業ともに優秀かつ健康であり、経済的理由により修学が困難であると認められる学生が対象となります。貸与された奨学金は卒業後返還が必要です。奨学生の採用方法には「予約採用」「定期採用」があります。

■「予約採用」/入学前の申し込み

入学前に奨学金を予約する制度です。進学する前年に、在学している高等学校等の奨学金窓口に出してください。進学先が確定していなくても申し込みができます。

※高等学校を卒業後、2年間は予約採用制度の資格を有します。詳しくは出身学校にお問い合わせください。

なお、入学後4月中旬に予約採用者を対象に説明会を実施します。対象者は必ず参加してください。

■「定期採用」/入学後の申し込み

4月中旬に申込希望者を対象に説明会を実施します。希望者は必ず参加してください。

日本学生支援機構ホームページ▶ <https://www.jasso.go.jp/>

| 第一種奨学金（無利子） | | |
|-------------|--------|------------------------|
| 貸与月額 | 自宅通学者 | 2万円、3万円、4万円、または5万3千円 |
| | 自宅外通学者 | 2万円、3万円、4万円、5万円、または6万円 |

| 第二種奨学金（有利息）※利息は年3%上限、在学中は無利子 | |
|------------------------------|------------------------------------|
| 貸与月額 | 2万円～12万円の範囲で、1万円単位から希望貸与月額を選択できます。 |

公益財団法人 東京都私学財団 育英資金

都内に居住している学生で、勉学意欲があり、経済的理由により修学が困難であると認められる学生が対象となります。申請する学生およびその保護者（扶養義務者）が、共に都内に住所を有していることが必要です。詳細は入学後に掲示でお知らせします。貸与された資金は卒業後返還が必要です。

※審査によって採用者が決定されるため、応募者全員が貸与されるとは限りません。

また、日本学生支援機構奨学金との併用はできません。

東京都私学財団ホームページ▶ <https://www.shigaku-tokyo.or.jp/>

| 東京都育英資金 | |
|---------|--------------|
| 貸与月額 | 53,000円（無利子） |

高等教育の修学支援新制度

神田外語学院は、東京都より高等教育の就学支援新制度の対象機関として認定されました。

制度の利用にあたり、ご不明な点はアドミッション&コミュニケーション部（フリーダイヤル0120-815-864）へお問い合わせください。

オリコ学費サポートプラン ※12期以降の受験では利用できません。

株式会社オリエントコーポレーション（以下オリコ）では、学生支援制度のひとつとして提携教育ローン「学費サポートプラン」を提供しております。

「学費サポートプラン」は入学金や授業料などの学納金を、簡単な申し込み手続きでご利用いただける学校提携の学費立替払い制度です。

店舗で手続きする必要はなく、WEBもしくは郵送で申し込みができます。詳しくはホームページをご覧ください。▶ <https://orico-web.jp/gakui/>

教育ローン

| | | | | |
|-------------------------------|--------|---|------|-----------------|
| 国の教育ローン 日本政策金融公庫 国民生活事業 | 融資金額 | 350万円以内(1万円単位) | 融資期間 | 15年以内 |
| | 返済方法 | 毎月元利均等返済(ボーナス月増額返済も可能)(在学中の元金据置も可能) | | |
| | 問い合わせ先 | 教育ローンコールセンター 0570-008656(ナビダイヤル) (加入している電話で利用できない場合は 03-5321-8656) | | |
| みずほ銀行『みずほ銀行教育ローン』 | 融資金額 | 10万円～300万円(1万円単位) | 融資期間 | 6ヵ月以上10年以内 |
| | 返済方法 | 毎月元利均等返済(ボーナス月増額返済も可能)(就学+1年間の元金据置も可能) | | |
| | 問い合わせ先 | みずほ銀行各支店窓口 | | |
| 三菱UFJ銀行『ネットDE教育ローン』 | 融資金額 | 30万円～500万円(1万円単位) | 融資期間 | 6ヵ月以上10年以内 |
| | 返済方法 | 元利均等返済(借入金額の50%以内でボーナス時増額返済も可能)(在学中を上限とした元金据置も可能) | | |
| | 問い合わせ先 | 三菱UFJ銀行コールセンター 0120-860-777 http://www.bk.mufj.jp | | |
| イオン銀行の教育ローン | 融資金額 | 10万円～500万円(1万円単位) | 融資期間 | 1年以上15年以内(1年単位) |
| | 返済方法 | 毎月元利均等返済(借入金額の50%以内で6ヵ月ごとの増額返済も可能)(在学中の元金据置も可能) | | |
| | 問い合わせ先 | イオン銀行コールセンター ローン専用ダイヤル 0120-48-1258 | | |

※詳細やご質問は、各金融機関へお問い合わせください。なお、審査には時間がかかる場合がありますので、ご注意ください。

神田外語学院 アドミッション&コミュニケーション部



東京都認可の専修学校／姉妹校・神田外語大学

神田外語学院

〒101-8525 東京都千代田区内神田 2-13-13

フリーダイヤル 0120-815-864

TEL: 03-3258-5838 FAX: 03-3254-2516

受付日時: 月曜日～金曜日 9:30～17:30 (祝日・休校日を除く)

ホームページ <https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/>

e-mail: pr@kifl.ac.jp

JR 山手線・京浜東北線・中央線 [神田駅] 西口下車徒歩 2 分

東京メトロ銀座線 [神田駅] 1 番出口徒歩 3 分

東京メトロ丸ノ内線 [淡路町駅]・

都営地下鉄新宿線 [小川町駅] A1 / A2 出口徒歩 7 分

東京メトロ半蔵門線・東西線 [大手町駅] A2 出口徒歩 7 分